

子育て支援①（はったばた療育支援室整備事業、子ども医療費支給事業）

アナ： 「市長が語る 2015 三島」第2回の今日は、三島市の子育て支援についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 子育て支援は、三島市が力を入れている施策の一つと伺っています。その中で、「(仮称) はったばた療育支援室整備事業」があると伺いましたが、どのような取り組みなのでしょうか。

市長： はい。三島市立はったばた幼稚園が閉園となり、その建物を利用して、現在、療育支援室で行っている発達支援事業の一部と、新たに単独教室を試行的に実施するために、建物等の整備工事を行い、職員を配置します。工事の内容としましては、空調設備の設置、相談室の遮音化、トイレの全面改修、排水設備や駐車場の整備を行います。工期は5月から9月末までに行い、10月頃から発達支援事業を開始する予定です。

アナ： はったばた療育支援室で新しくはじまる単独教室とはどのようなものですか。

市長： はい。児童が通う少人数の教室で、今年度は試行的に実施します。その教室では、幼稚園・保育園での集団生活を行うことが難しいなどの課題をもつ児童が、毎日通うことで生活とあそびの経験を職員と一緒に繰り返しながら、基本的な生活習慣、身近な人・物・活動への気付きや興味、感情や意思を表現する力を育むことを目的とするものです。

アナ： 今後の取り組みを教えてください。

市長： はい。(仮称) はったばた療育支援室を整備することにより、教室で行う発達支援事業と相談事業を充実させ、療育支援室全体の機能を強化するとともに、発達や成長に心配があるお子さんとその保護者の方が、地域の中で安心して生き生きと生活していくことができるように支援してまいります。

アナ： よくわかりました。

ところで、豊岡市長、三島市では、最近、子ども医療費が無料になったと伺いましたが、子育て中の世帯にとっては、とてもうれしいお知らせですね。

市長： はい。少子化が進む中で、次代を担う子どもたちが健やかに成長するための環境づくりはたいへん重要でありますので、三島市に住むお父さん・お母さんが、安心して子育てをしていただけるよう、子育て世帯の医療費負担の軽減に努めています。これまで、入院・通院とも中学3年生までの子どもを対象に、入院は無料、通院は未就学の子どもは無料で、小中学生については、1回の受診につき500円、1か月に最大4回2千円までを負担していただいておりますが、平成27年4月1日からは、小学1年生から中学3年生までの通院にかかる500円負担をなく

し、赤ちゃんから中学3年生までの入院と通院を、完全無料にいたしました。

アナ： 市長が完全無料化に踏み切ったのは、どのような理由からでしょうか。

市長： はい。それは、日頃から、子ども医療費の負担軽減を求める市民の皆さんの声が多く寄せられていたということが大きな理由です。昨年度、子ども・子育て支援事業計画をつくるにあたって、皆さんのニーズを把握するために、子育て世帯を対象にアンケート調査を行いました。子どもをたくさん産みたいけれども現実的には理想の人数を産むことができない理由として、経済的な負担の大きいことが一番に挙げられておりました。そこで、何とか皆さんのニーズに応えようと、平成27年度から子ども医療費の負担軽減の拡充を決断させていただいたわけです。

アナ： そうですか。子どもたちの健やかな成長を守り、ご家族の経済的な応援にもなる施策だということですね。

市長： はい。子育て世代のお父さん、お母さんに、三島で出産して良かった、三島で育てて良かったとっていただけるように、そして、三島が一番子育てがしやすいまちだと思っただけりよう市役所全体で取り組んでまいります。

アナ： 豊岡市長のお話を伺って、三島市が子育て支援に力を注いでいることがよくわかりました。豊岡市長、本日はありがとうございました。